

食とエネルギーの循環を活用した戦略的農業ビジネス展開事業

「新しい東北」先導モデル事業 提案書(様式3)

(福島県伊達市霊山町小国地区) - NPO法人再生可能エネルギー推進協会・下小国区民会 -

課題・問題意識(提案の背景)

- (1)農地の放射能汚染およびその除染:農地除染の対費用効果
- (2)農作物生産:農業の6次産業化により起業、帰農を図りたい。
- (3)地産地消の再生可能エネルギーへの関心の高まり:メタン発酵実験に取組中
- (4)農作業従事者の高齢化と後継者不足、若者の地区離れ

事業の全体構想・目指す目標像

○取り組む内容のねらい・実施主体間の連携等

- 地域の特徴を活かした農業の6次産業化による持続可能な農業ビジネス経営の創出と展開
- 地産地消の再生可能エネルギー創出によるエネルギー燃料および肥料コストの軽減と持続可能な自立
- 若者の就業の場創出と農地および農業技術後継者の育成 ○ 高齢者の活躍による地域活性化と健康増進

○主な取組

【取組①「小国ブランド農産物栽培事業」、実施主体:下小国区民会・再生可能エネルギー推進協会】

- (1)取組内容:樹皮・フィルム農法による高精度トマト(右写真は石野農園の樹皮栽培トマト、NHK「キッチンが走る」で紹介)やイチゴの試験栽培、大豆試験栽培、エネルギー作物(飼料米、菜種)試験栽培
- (2)見込まれる効果 等:ブランド化および6次産業できる作物栽培によるビジネス経営創出



NHKホームページより転載

【取組②「小国ブランド加工食品製造事業」、実施主体:下小国区民会】

- (1)取組内容:地元食品加工会社(右写真)と漬物・ピクルスの新製品共同開発、霜里農場提供の有機大豆製品開発
- (2)見込まれる効果 等:6次化への第一歩、H27年に開設予定の道の駅の代表的ブランド商品開発



福島りょうぜん漬本舗ホームページより転載

【取組③「エネルギー燃料・肥料事業」、実施主体:再生可能エネルギー推進協会・下小国区民会】

- (1)取組内容:農産物および加工食品工場残渣のメタン発酵によるバイオガス製造(右は稼働中の実験施設)と消化液の液肥利用
- (2)見込まれる効果 等:ハウス栽培へのエネルギー燃料供給および養液栽培への液肥活用



- (1)取組内容:戦略的な農業ビジネス経営の基礎となる体制を構築、商品開発、ICT技術を駆使した情報発信、市民ファンドなども検討
- (2)見込まれる効果 等:若者に魅力ある就業の場を創出(右上は若者に人気の「モクモク手作りファーム」)



モクモク手作りファームホームページより転載

平成25年度「新しい東北」先導モデル事業

実施スケジュール

- | | |
|-----------|--|
| H25年10月 | ○伊達市に本事業を報告
○取組キックオフ講演会開催(講師:吉田 修氏を予定)
○和郷園視察 ○ピクルス製造
○粟野森林組合研究員招聘 |
| 11月~12月 | ○霜里農場と有機大豆使用契約
○モクモク手作りファーム視察
○BDF製造
○豆腐の試験製造開始
○漬物試作製造
○BDF発電による電照試験開始 |
| H26年1月~3月 | ○バイオガス、BDFによるハウス暖房試験
○高橋農場視察
○ミニキュウリ試験栽培開始
○各取組のまとめと検証 |
| H26年4月~ | ○有機大豆の試験栽培開始
○古代米の試験栽培開始
○廃グリセリンのメタン発酵
○農事組合法人設立準備 |
| ~9月 | ○有機大豆の試験栽培開始
○古代米の試験栽培開始
○廃グリセリンのメタン発酵
○農事組合法人設立準備
○食品加工工場、倉庫等検討 |
| 10月~2月 | ○試作加工食品による営業活動
○農事組合法人名称検討
○農事組合法人HP制作
○各取組のまとめと検証
○報告会開催 |

平成26年度以降の展開

- 小規模実用レベルのメタン発酵施設の設計・建設
- エネルギー作物栽培の可能性調査とFIT制度の発電事業調査

- 小国ブランド農作物の本格的な試験栽培の開始
- 小国ブランド加工食品の魅力のブラッシュアップ

目指す目標像

- 新しい品種・栽培方法を売りにしたブランド農作物の実現
- 道の駅だけではなくネットショップでも人気のオリジナル加工食品の実現
- 再生可能エネルギーを活用したハウス栽培
- 東北発の国産メタン発酵利活用システムの構築
- 再生可能エネルギー村のモデル地区を実現し、教育現場に提供